

Name 萩原 のぞみ

12/1	火	11月12月に入り、家も町もクリスマスの飾りで満たされてきた。今日は夕食に、やきそばを作った。肉じゃがのときほどではなかったが、そこそこのウケたのでよかった。アメリカ食に慣れたように思っていたが、いざ日本食を食べると、自分は日本人だなぁと思う。夕食卓にて、日本でめん料理を食べるときは、すすり、音を立てて食べる、ということをお前のHTに「Gross!」と言われたので、特に食事中の音は嫌悪感を与える人だなぁと思った。
12/3	木	今日は、MNCCからの12月の通信にもあたると、MNCCの書類を見返してみた。危機管理の最後に載っている異文化適応の段階のところを読むと、その通りだなぁと思うところがあった。特に、生活の流儀が分かるようになり、言語以外から読み取る情報が増えるため、会話が理解しやすくなるが、英語力も上がったわけでは無い。いいなことが書いてあって、くうの音も出ないなと思った。よめ入った話かできるようにするために、まだまだ頑張らないとなと思う。
12/5	土	今日は2回目のACとの面談があった。自分の思っていることをそれぞれに伝えられたので良かった。面談場所は、家から少し離れたOak Harborの公園であったので、HMに送迎をしてもらった。道中は色々話をし楽しかった。いつもはHTたちといて、HMと2人でじっくり話すことはないの、HMとたくさん話かできた良い機会だった。HMはいつも、忍耐強く、私の話を聞いてくれるのでとてもありがたと思う。行き帰りの途中でクリスマスショッピングもして、有意義な1日を過ごせた。
12/7	月	昨夜から一番上のHT、3マンタが、宿題に集中するために、おじいさん家に泊まるとの、今日はいつもより少し寂しい日だった。それでも家には2人のHTがいて、彼女たちといっしょに話かできた。夕飯は、アマンタが嫌いだからといっては食べない、魚料理をみんなで食べて、それはそれで楽しかった。しゅの仲間の噂とかということも分かり、時では卵をもてろのを食べるということを紹介したら、気持ち悪がられたが、日本のことを少し話せて良かったと思う。
12/9	水	今日は、授業を終えた後に、3マンタを迎えにいっしょに、おじいさん家で夕食をこたえうになった。今日はHTたちと、それぞれがそれぞれの理由で嫌悪感悪く、とても静かだった。私は私であまり話せず、微妙な日だった。最近話そうとする努力を怠っている自分かいるので、反省すべきだと思つた。冬期休業前だから、宿題もいつもより少なく、自分かどうにかしない、暇を持て余す。どうにかしない。
12/11	金	今日は必須科目の授業があった。最近のクラスでは、淡々と授業を受けてはたけ、あまり発言できていないように感じる。英語の授業は、誰も発表しなま、先生が指名に入ることがよくある。今年の授業日も残るところ1週間となった。ここでは、休日は本当に休日で、冬休みとはいえ学校に行く機会がある、ということもないので、授業をより大切に思、て、授業参加かできるように頑張りたい。
12/13	日	今日はHPが買っ物に行っている間に、HTたちとHMの70セントラ、ををした。量もそれぞれで、途中途中でけんかを狭みながら、包装用紙やリボをみんなで選びながら、ラッセルグをして、楽しかった。HPが帰ってきた後は、クリスマスソリーのデコレーションをした。今年のテーマは「White Christmas」らしく、すべて白色の飾りで飾りつけをした。12月も後半に入っている、あといつ間に年が終わっていくんだと思う、焦る。

時文化を
丸紹介は
良一昨た
と思え

Name 萩原 のぞみ

12/16 水	今日は、はじめて、English Learners Service の先生とオンラインで話した。このELSのクラスは英語が第2言語の生徒のために先週からオンライン学習に切り替えられた。全体的に24人いるが、ほぼみんなスペイン語が第1言語のようだ。宿題や授業で困り事があれば、ELS 専属の先生が助けてくれ、生徒同士の会話を授業に比べやすい雰囲気だ。今の状況下で貴重な機会になるので、上手に活用したい。
12/18 金	今日は、今年最後の授業日だった。どの授業も授業という感じではなく、クリスマスに関するビデオを見たり、ゲームしたり。生徒はもちろん、先生たちもクリスマスに向けてどこかワクワクしていた。授業後は、HTと映画みて、夜にはカールスカウトのオンラインのクリスマスパーティーに参加した。インターネットの接続がよくなく、あまり話せなかったのが残念だったが、それでも楽しかった。一かどしっかされた。白羊でクリスマスは一大イベントだが、アメリカのクリスマスは、そんな感じじゃないなと肌で感じる。
12/20 日	Winter Breakに入ると、宿題も部活動もないと、することが何もなく、HFも基本的に12:00を過ぎないと起き出さないので、図書館から借りた本を読むことにした。英語の授業の次の課題図書がシェイクスピアの空騒ぎで、絶対に先に読んでおかないと、大変だろうと思って、それを読むことにした。原文は全く意味がとれないので、あとでなし、現代語訳版を読んでいる。わかる with 富んだ例えやジョークが多く、調えないといけないところも多いが、時間はあるので有効に活用したい。
12/22 火	今日はHTたちへのクリスマスプレゼントを買いに行きた。何を贈るか決めかねている私をHMが色々助けてくれた。その後は、HMとHTたちとウォーキングに行きた。ウォーキングしている間は、2番目のHT、アイリーと話していた。アイリーは、基本私の話を我慢強く聞いてくれる。ありがとう。と思うと同時に、自分の話す能力の成長が自分で感じられないので不安に思う。これまでの4ヶ月が、あとという間に感じる。
12/24 木	今日は明日のクリスマスに向けての準備を家族みんなで行っていた。準備が忙しすぎて、心の余裕がなかったのか、HMの機嫌が明らかに悪く、みんなが4~5回程怒鳴られた。HTに聞いたところ、これも年中行事のうちらしい。とりあえず準備を終わらせた後は、HFのおじいさんが来て、一緒に夕食を食べた。その後は、この島の劇団による「ぐるみ割り人形」のバレエを動画で見た。明日はクリスマスだが、どこか疲れた感じがある。
12/26 土	昨日はクリスマスで、半日をかけてHFと親せき家族でプレゼント交換をした。楽しかった反面、話したことを英語にできずに、いらいと反省するところもあった。か、それでも楽しかった。明日今日は、もらったプレゼントを色々整理したり、昨日の片付けをしたりした。クリスマスに向けての熱気が落ち着き、くしゅ、くしゅしてきた。もうこれで2020年も終わるが、今だに年感がまたこない。
12/28 月	今日から2泊3日で、HMとHTと雪山の装のケボレに滞在している。明日、明後日はもうケレ標高の高いところに行き、雪遊びをする予定らしい。今日はとりあえずチェックインをして、部屋の中でHTたちとひたすらボードゲームをした。久しぶりに純粋に楽しめた。3人のHTたちがいて本当に良かったなと思う。2020年を振り返って、いらいと思ったりいかにいいことがたくさんあったか、それを来年に活かしていきたい。

Academic High School Program
Student Report

【学校生活と家庭生活について】

12月分

Name 萩原 のぞみ

〈学校生活〉 Thanksgiving が明けてから、Winterbreak 前までの3週間程の学校生活は、割と淡々とこなしてしまえたように思う。学校が休み、約3ヶ月が経ち、ホリデーの学校生活にはずかり慣れた。今のところ、2月から徐々に登校が再開される見込みだが、小中学校優先で登校開始になるため、実際1ヶ月高校が再開するまでは分からない。Winterbreak の間に、学校へのモチベーションを高めたいと思う。

〈家庭生活〉 今月の家庭生活は、クリスマス一色だった。子供たちだけでなく、親もクリスマスに向けて気が高まっているような感じがしていた。コロナ禍とはいえ、クリスマスシーズンは色々な人に会う機会も多かった。その度に、自分の会話力がまた「また」ということに気付かせられ、反省する事も多かった。また、この家庭に来て4ヶ月が経ち、HTたちに対して、色々と思うところも出てきたが、たまたまこころ、HTたちと意識的に話すようにして、HTたちのいいところに向けて目を向けるようにできた。Winterbreak を通じてHFとはさらに濃い時間を過ごせたと思う。

【日本と米国の違いについて】

・日本の12月は、年末に向けて、いろいろと間に合わせないと、という焦燥感のようなものがあるが、アメリカの12月はクリスマスに向けて雰囲気高まり、みんなふあふあしている感じがして、年が暮れていくな～、というどしどししみりとした気持ちになれない。

・日本の冬休みは、12月の月末きりぎりから1月7日までくらいだが、アメリカでは、12月の後半から1月1日まで、日本では年越しが一一大行事で、お正月に重きをおくが、アメリカはとにかくクリスマスが一一大行事で、年越しはわりとささとしていいる。

・受験、テスト、進路選択に対してのヒリヒリ感が薄い。

・アメリカでは、いち早くコロナウイルスのワクチン接種が始まった。私のHDは実際にワクチン接種を受けたというので話を聞いたところ、接種後2~3日は強いだるさや疲れを感じるらしい。これは毎年1回の予防接種になる予定らしい。鹿児島にいたときは、コロナ、コロナで騒いでいたけど、今一つ実感が湧かずにいたが、アメリカに来てからは、実際に会って話したことがある人がコロナにかかったり、身近にワクチン接種をした人が

いたりして、かなり実感が湧く。Minami Nihon Culture Center